



日野中だより20号

発行：令和4年2月2日（水）

文責：佐世保市立日野中学校

校長 池田 美祐紀

校訓



学校教育目標

心豊かで活力に満ちた生徒の育成

学びあい

認めあい

支えあい

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらをご覧ください。

ー 何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く ー

あなたは、将来、自分の大きな花を咲かせるために根を伸ばしていますか？

私は、冬の寒い日になると、いつも心に大切に留めている言葉があります。

この言葉を思い出すと辛い時期も元気を出ることができるので、生徒のみなさんも元気が出るように、私が大切にしている言葉を贈りますね。みなさんも聞いたことがあるかもしれません。

『何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く』という言葉です。

今、校門をくぐると、左手の花壇にパンジーが植えられています。このパンジーの苗を植え付けるのは秋です。寒い冬の間、見た目にはあまり成長していないように見えますが、この時期、私たちには見えない土の中で大きく根を張っているのです。パンジーは、そうやって冬の間に頑張って根を張っているのです。春になった時、その根から栄養をいっぱい吸って、たくさんのきれいな花を咲かせることができるのです。春になってから、植え付けてもだめなのです。

これは、人間も同じです。冬の時期は、暖かい他の時期に比べて活発に動きにくくなります。人間の人生にも、物事がうまくいかない時や調子のよくない時があります。でも、そんな時こそが、チャンスなのです。今、たとえ他人より遅れていても、見えないところでコツコツと準備をすること、下へ下へと根を伸ばすことで、チャンスが訪れた時に大きな花を咲かせることができるということです。

シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんも、ケガや欠場などで苦しみ、長い間不遇の時代が続いたそうです。その時、彼女もこの言葉を胸に、毎日毎日、あきらめることなく練習を行い、努力を続けておられたそうです。そして、その後、金メダルを手にしたことは大変有名です。

もうしばらく寒い時期が続きますが、この厳しい寒さをどう乗り越えるかで春のスタートが決まります。3年生は、もう既に受験が始まっていて、一生懸命に各自の希望を叶えるために頑張っています。1、2年生のみなさんも進級する春によいスタートが切れるように、この時期しっかりと根を伸ばしておいてくださいね。



冷たい風に耐え、根を伸ばしながら、春を待つ日野中のパンジー

パンジーの植え付けをしていただいた松本管理員さん

いつも花壇をきれいに保ってくださいています。



【節分と立春】

節分とは・・・



今年の節分は2月3日です。もともと、節分という言葉には「季節を分ける」という意味があり、「立春」の前日にあたります。節分は冬の終わりの日で、翌日から新しい季節が始まる区切りの日となるわけです。そのため、邪気や悪いものを落として、新しい年に幸運を呼び込むことを目的に、節分という行事が各地で行われるようになったということです。豆まきが行われるようになったのは室町時代とされており、豆＝魔目（鬼の目）を滅ぼすということに由来されているという説があるそうです。豆は五穀（米、麦、ヒエ、アワ、豆）の象徴であり、農耕民族である日本人は、これらに神が宿ると信じていました。

節分の日には豆まきを行い、年の数だけ（或いは＋1）豆を食べて1年の無病息災を願います。最近では、吉方位に向かって無言で恵方巻を食べる人もいます。



立春とは・・・



節分の翌日、すなわち2月4日が「立春」です。寒さが厳しい時期ですが、暦の上では、この日から季節が春に変わります。「立春」とは、二十四節気のひとつです。「立」という漢字は中国語で「はじまる」ことを指すので、立春は「春のはじまり」という意味があります。

阪神・淡路大震災から27年 — 忘れてはならない日 —

阪神・淡路大震災から27年経った1月17日、生徒に放送でこんな話をしました。子どもたちは、真剣に話を聴いてくれました。



みなさん、今日は何の日か知っていますか？

27年前の今日、1995年1月17日、午前5時46分、阪神・淡路大震災が発生しました。これは大都市直下型地震で、観測史上初めての震度7を記録した大変大きな地震でした。

私は、その日の朝、いつものようにテレビをつけました。すると、何が起きているのかわからない、とてもショッキングで信じられないような映像が目に飛び込んできました。町の中のあらゆる所で炎が上がり、高速道路の道はグニャグニャに歪んでいます。折れ曲がった高速道路の先には、バスが引っかかっています。初めて見る光景でした。「え？ バスに乗っていた人はどうなったの？」「高速道路を走っていた車は？」私は、学校に行く準備をするのも忘れて、テレビの前に立ちつくしました。弟が大阪に住んでいたので心配になり、何度も電話をしてみました但通じなくて、心配でドキドキしたことを覚えています。

この地震では、建物の倒壊や火災などが相次ぎ、その後の「災害関連死」も含めて6434人の方が亡くなりました。今でも、行方不明の方がおられます。

この休日、他国で大規模噴火が起こり、その影響で日本や長崎にも津波の警報や注意報が発令されました。みなさんもびっくりしたでしょう。このように、最近、地震災害や危機的状況が私たちの身の回りでも増えてきました。決して他人事ではなく、自分事として考えておかなければ、自分や大切な人の命を守ることはできないのです。

今朝、神戸市の公園で、5000本の灯籠が「忘れない」ということばの漢字に並べられ、犠牲者を追悼されているニュースを見ました。日野中でも、今日は阪神・淡路大震災の犠牲者の方へ弔意を表すために半旗を掲げています。

みなさんも、今日は、阪神・淡路大震災の犠牲者を悼み、その教訓などから学ぶべきことを考える一日にしてほしいと思い、話をさせていただきました。注意深く聴いてくれてありがとうございました。